

ピンクリボンNEWS

2025年度
春号
Vol.14 No.1

発行人 認定NPO法人 J.POSH

編集 ピンクリボンNEWS 編集委員会

発行所 J.POSH事務局〒538-0043 大阪市鶴見区今津南2丁目6番3号 TEL.06-6962-5071

J.POSH
日本乳がんピンクリボン運動®

TOPICS

2つの祖国 導かれた医療の道



公津の杜メディカルクリニック
院長

鈴木 テイベリユウ 浩志

私の父は日本人、母はルーマニア人です。日本とルーマニアのハーフと言えば、室伏広治選手です。またルーマニアと言えば、白い妖精ナディア・コマネチ、吸血鬼ドラキュラで有名なトランシルバニア、そして独裁者チャウシェスクでしょうか。私は東京で生まれて2歳の時に、父の仕事の関係でルーマニアに行き、小学校の6年生に日本に帰って来ました。当時のルーマニアはチャウシェスク政権下の社会主義の国でして、私は現地の学校に通っていました。

日本の祖父母が、私が日本語を学べるようにと雑誌や本をたくさん送ってくれました。小学校5年生の時に手塚治虫のブラックジャックを送ってくださり、とても刺激を受けて、私はボロボロになるまで夢中で何度も読み返しました。私が医師、そし

て外科医を目指す大きなきっかけとなりました。



中学、高校は日本で過ごしましたが、大学は子供の頃に憧れていたブカレスト大学に入学すべく、ルーマニアに戻りました。

当時ルーマニアの医学部は4つしかなく、人口2300万人に対して4つですので、かなりの難関でした。入試はマークシートで理数系+外国語の選択でしたので、言葉の壁もあまり感じずに何とか滑り込む事が出来ました。

ルーマニアの医学部の授業料はタダですが、卒業するのが非常に厳しいです。また将来進みたい科は大学の成績や学士論文、国家試験の成績ですべてが決まります。1年生の頃から同級生はみんなライバルになります。ノートの貸し借りは先ず存在しません。大学での試験は将来がかかっていますので、みんな落第しないように勉強するのではなくて、満点を狙いに行きます。

実習では触診したり、聴診したりとにかく患者さんに触れる事が大事にされていて、心雑音を聞き逃したり、肝腫大を触れなかったりしても実地試験では落とされます。みんな毎日足繁く患者さんの所に行き、何度も触らせて頂いたり、聴診させて貰ったりして感覚を鍛えます。

私は病院実習が始まった大学4年生頃から、漠然と心臓血管外科に進みたいと考えようになりました。卒業して心臓血管外科に入り充実した日々を送っていましたが、

【次ページへ続く】

研修医1年目が終わる頃にデンマークのコペンハーゲン大学の心臓血管外科に枠があると教授からお話を頂き、デンマークに行くことになりました。



コペンハーゲン大学の心臓血管外科は開心・バイパス手術が年間800例近くあり、特に小児の心臓手術も多く多忙を極める毎日でした。観光をする暇はありませんでした。デンマークの生活が2年経った頃、突然急性膵炎で倒れてしまいました。おそらく疲労、ストレスが原因です。入院中急に異国の地にいるのがとても寂しくなり、両親のいる日本に帰る事を決断しました。私の人生の大きな転換期になりました。



日本に帰って来てもうすぐに医師として働ける訳ではなく、書類審査や認定試験を合格すると医学部卒業相当と認定され、国家試験を受ける事が出来ます。

父が医学部ではありませんが千葉大出身ということで、心臓血管外科のある千葉大学第1外科に入局する事にしました。当時の千葉大の心臓血管外科の開心・バイパスの手術件数は年間80例程度で、やはり手術数をこなさないと上手くならないという思いもあり、心臓血管ではなく一般外科医を目指す事にしました。出張先の病院では乳腺の患者さんを診る事が多く、乳腺の専門医も少ない現状にも直面し、いつの間にか乳腺専門医を目指していました。

千葉大に戻り大学院を卒業した後、教官もさせて頂きましたが、医師としての仕事よりも会議等の雑用が多く、外来や手術をする機会が少しずつ減ってしまい、悶々としていました。また様々な研究にも携わり、科研費を頂きましたが、乳がんは早期発見が何よりも大事という結論に至りました。そんな中、成田での開業の話が浮上し、開業は全く考えていなかったのですが、乳がんの早期発見に携わる草の根活動を地

方からと考え、元々の憧れであるオールマイティに患者さんを診られる環境に近づけるとも考え、開業を決心しました。



ルーマニアでもピンクリボン運動は盛んに行われています。ルーマニア人女性の8人に1人が乳がん罹患すると言われていて、乳がんは女性のがんの中で罹患数は1位、がんによる死亡者数では3位です。検診受診率は50%前後で、ヨーロッパの中では低く、深刻な問題となっています。私の親戚や友達、同級生もたくさん居るため、心配です。現在の成田での乳がんの早期発見を中心とした日々の診療やピンクリボン運動に邁進すると同時に、今までの経験を生かし、微力ながら両国の架け橋となり、ルーマニアのピンクリボン運動にも少しでも寄与し恩返しが出来たらと考えています。

鈴木 ティベリユウ・浩志 (52歳) 2児の父
(父：日本人 母：ルーマニア人)

人生の半分を海外で過ごす

【経歴】

平成10年 ルーマニア国立ブカレスト医科薬科
総合大学医学部 卒業 同附属病院
平成12年 デンマーク王立コペンハーゲン大学
医学部附属病院
平成14年 千葉大学医学部附属病院 臓器制御外科学
平成23年 千葉大学医学部附属病院 乳腺甲状腺外科 助教(文部科学指導教官)
平成26年 4月 公津の杜メディカルクリニック 開設

【資格等】

医学博士(千葉大学大学院医学薬学府卒業)
EU通用医師免許
日本外科学会 専門医
日本乳癌学会 認定医・専門医
日本がん治療認定機構 認定医
日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ読影認定医師
日本乳がん検診精度管理中央機構 乳房超音波医師

オフィシャルサポーターのご紹介

サントリーフラワーズ株式会社

『プリンセチア』開発を機に、売上金の一部をJ.POSHに寄付

サントリーフラワーズ株式会社(東京都港区、四方康範社長)は、サントリーホールディングス(株)の100%出資会社で、花苗・花鉢、野菜苗・野菜青果、および切り花の開発・生産・販売を展開しております。花を「人々の生活に潤いをもたらし、心の健康をもたらすもの」と位置づけ、酒類、食品分野で培った基礎研究を応用した植物の研究開発を行い、顧客に『花のある暮らし』を提案・提供されています。近年は、花だけでなく、野菜の開発・栽培にも力を入れ、丁寧に育てられたミニトマトなどはスーパーの店頭にも並び、その味の良さで、人気を博しているそうです。

鉢植えにポップ添えピンクリボン運動アピール

サントリーグループは「人と自然と響きあう」を企業理念に掲げています。フラワーズ社は「花を通して地域の活性化、次世代育成を支援」するなどCSR(企業の社会的



鮮やかなピンクのプリンセチア

責任)経営)に取り組んでおられ、09年5月にJ.POSHのオフィシャルサポーターに登録されました。同社が開発した「プリンセチア」は、メキシコや中央アメリカを原産国とする赤いポインセチアをピンク色にすることに成功。その発売を機にピンクリボン運動に協賛され、売り上げの一部を毎年定期的にJ.POSHにご寄付頂いています。プリンセチアの生産者の皆さんにピンクリボン啓発ポップを配布し、商品と一緒に出荷してもらい、販売店の店頭で掲示してもらうなどピンクリボン運動のPRにも力を入れて頂いています。

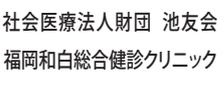
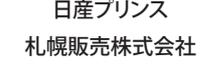
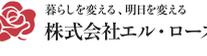
プリンセスのような華やかな印象から『プリンセチア』と名付けられ、花言葉は「思いやり」。09年に日本フラワーオブザイヤー最優秀賞、15年にフラワー大賞グランプリなどを受賞されています。毎年10月上旬～12月上旬のクリスマスシーズンに販売され、その販売数量に応じた金額をご寄付して頂いています。「日本航空」、「エスティローダー」、「ピンクリボン京都」「ららぽーと横浜」などの企業や団体などと共同でピンクリボンキャンペーンを実施。その際、フラワーズ社はプリンセチアを無償提供し、共催の形でイベントを盛り上げてこられました。

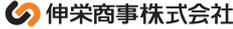


鉢植えのプリンセチアに添えられるポップ

J.POSHオフィシャルサポーター

認定NPO法人 J.POSH (日本乳がんピンクリボン運動)を通じてピンクリボン運動をご支援いただいている企業・法人・など各種団体の一覧です。

 <p>東京海上日動 あんしん生命</p>	 <p>yoga works ここちいいヨガ、ここから。</p> <p>有限会社ヨガワークス</p>	 <p>international Frau</p> <p>株式会社フラウ・インターナショナル</p>	 <p>プロポーズづくりのダイアナ Diana Solution for Life</p> <p>株式会社ダイアナ</p>	 <p>バルーガクリニック BELLUGA CLINIC</p>
 <p>M+TC Mammoplus TAKEO CLINIC</p> <p>医療法人健優会マンモプラス竹尾クリニック</p>	 <p>日産プリンス山梨</p>	 <p>スルガ銀行</p>	 <p>TAKAZONO 株式会社 タカソノ</p>	 <p>NISSAN 日産プリンス茨城</p>
 <p>ChApord シャポード</p>	 <p>Benefit Station 株式会社ベネフィット・ワン</p>	 <p>ノイエス株式会社</p>	 <p>エルスメディカ名古屋</p>	 <p>SOLUTION for your life ... for your business ... 株式会社オフィストゥーワン</p> <p>株式会社オフィストゥーワン</p>
 <p>人も地球も健康に Yakult</p> <p>株式会社ヤクルト本社</p>	 <p>SOIR TOKYO 東京ソワール</p>	 <p>高木金属工業株式会社</p>	 <p>中部飼料株式会社 CHUBU SHIRYO CO., LTD.</p>	 <p>朝日生命</p>
 <p>SUNTORY SUNTORY FLOWERS LIMITED サントリーフローズ株式会社</p>	 <p>社会医療法人財団 池友会 福岡和白総合健診クリニック</p>	 <p>株式会社アキヤマ</p>	 <p>京都奉製株式会社</p>	 <p>3A-life スリーエー・ライフ株式会社</p>
 <p>JFR CARD JFR GROUP</p> <p>JFRカード株式会社</p>	 <p>日産プリンス 札幌販売株式会社</p>	 <p>空気を洗う吸紙。 ルノン株式会社</p>	 <p>サカタのタネ</p>	 <p>co-op コープデリ わたしたちは コープデリ グループです。 食卓を笑顔に、地域を豊かに。</p> <p>株式会社コープデリ保険センター</p>
 <p>JML INK 中日本メディカルリンク株式会社</p>	 <p>hugge bridal sweet and luxually bridal inner 株式会社ローズ・サプライ</p>	 <p>くわこや 株式会社くわこや</p>	 <p>JAPACK'S 株式会社ジャパックス</p>	 <p>笑顔と感動の架け橋を CEHR'S good healthy life 株式会社シールズ</p>
 <p>T-PEC ティーベック株式会社</p>	 <p>RITSUBI LEADING BEAUTY INNOVATION 株式会社リツビ</p>	 <p>大木産業株式会社</p>	 <p>Activate Power of Fashion iDA 株式会社 iDA (アイ・ディ・エー)</p>	 <p>ビーンスターク Bean Stalk 雪印ビーンスターク株式会社</p>
 <p>美しく、大人を生きる。 WIG YUKI SINCE 1975</p>	 <p>YONESAKA ESTHETIQUE GROUP 米坂 エステティックグループ</p>	 <p>暮らしを変える、明日を変える 株式会社エル・ローズ</p>	 <p>HEAVEN Japan 株式会社HEAVEN Japan</p>	 <p>GUNZE グンゼ株式会社</p>

 THE WORLD THE WORLD株式会社	 ミドリ安全 ミドリ安全株式会社	 日本製紙株式会社	 伸栄商事株式会社	 高信化学株式会社
 日本生活協同組合連合会	医療ビジネス専門学校	 株式会社ワコール	 メドライン・ジャパン合同会社	 旭川リハビリテーション病院
 株式会社ベルセンタースタッフ	 株式会社HRC	 けやき美容クリニック沼津院 KEYAKI BEAUTY CLINIC NUMAZU	 MTコスメティクス株式会社	 エコロシティ株式会社
 株式会社北里コーポレーション	 株式会社スクロール	 ティールライフ株式会社	 あなたに輝く日々を なないろ生命 朝日生命グループ	 株式会社コープ東北保険センターあおり支店
 ニチモウバイオテックス株式会社	 明治安田生命	 社会医療法人 鴻仁会 岡山中央病院	 学校法人 医学アカデミー	 株式会社スノーヴァ
 滋賀日産	 株式会社マリコロレ	 株式会社 香家	 カシオ計算機株式会社	 SBI損害保険株式会社
 株式会社リベルタ	 クリスチャン ディオール合同会社	 株式会社アーキ・ジャパン	 天然アミノ酸スキンケア・サプリメントといえ、 株式会社エコロ・インターナショナル	 有限会社ワイエスティサイキ

J.POSHオフィシャルパートナー

認定NPO法人 J.POSH (日本乳がんピンクリボン運動)を通じてピンクリボン運動をご支援
いただいている営利を目的としない患者会・協会・組合・などの各種団体の一覧です。

 乳がん患者会「関西ひまわりの会」	 神和温泉 神温泉郷 温泉神楽屋エリアサポート 星神温泉観光局	 藤沢ラグビー蹴球倶楽部	 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会 女性経営者の会	塩原温泉旅館協同組合 女将の会
 一般社団法人日本グルーデコ協会	 川越市 最明寺	 大阪府レディースバドミントン連盟	 一般社団法人 関西学生アメリカンフットボール連盟	

オフィシャルサポーターのご紹介

ニチモウバイオティックス株式会社

大豆サプリの研究通じ
女性の健康サポート

ニチモウバイオティックス株式会社(東京都港区、北谷明大社長)は、水産専門商社ニチモウ株式会社(東証プライム上場)の100%出資グループ会社。健康食品素材、健康食品および化粧品の製造・販売などを展開しておられます。1990年にスタートした「養殖業の餌料として大豆を利用することを旨とした研究」を起源とする同社は「大豆サプリメントの研究開発・販売などを行ってきた中で、これまで以上に女性の健康をサポートしていくために何ができるかを考え、ピンクリボン運動への参加を決めました」とし、22年3月にJ.POSHのオフィシャルサポーターに登録されました。

ニチモウ(株)のバイオティックス事業の一翼を担うグループ会社として1999年に設立された同社は、独自の高機能性食品素材「アグリマックス」、「イムバランス」を主軸に、国内外の研究機関と研究開発を進めると共に、素材の提供、サプリメントの販売、さらには代替医療分野への展開をされています。

遺伝子組み換えをしていない安全な大豆胚芽のみを使用して製造されている発酵大豆胚芽製品には、通販向けにイソラコンブランドとして「麹菌発酵イソフラボン」、相談



薬局向けに「ファイトロゲン」などのサプリメントを販売、また、医療機関向けサプリメントとして「Dr. AglyMax」を取り扱っておられます。

同社は長年にわたり多くの専門医と共に、婦人疾患に対する研究を続けてこられました。そこで得られた知見を活かし、女性の健康について啓発活動を繰り広げ、具体的には①取引先である婦人科クリニックなどの医療機関や研究機関への情報発信②社内およびグループ会社の従業員に向けた啓発などを実施されています。

京大などと研究進め、
安全性や機能面PRへ

国立がん研究センターの研究によると「イソフラボンを最も多く摂っているグループでは乳がんの発生率が低い」、札幌医科大学の研究では「イソフラボン摂取により前立腺がんリスクを下げる効果がある」とそれぞれ研究結果が公表されており、北谷明大社長は「イソフラボンと乳がんとの関連の問い合わせは多いです。これまでに、京大、京都府立医大、ハーバード大、星薬科大などと研究を進めており、安全性や機能面について学会発表や当社のホームページなどを通じてPRしていきたい」と意欲を示しています。

【北谷社長から一言】

ひとくちに「大豆イソフラボン」といっても様々な種類があることやその種類の違いによって作用機序が異なることなど、一般に知られていないことがまだまだ多いと思っています。誤解や勘違いによって皆様の健康の不利益にならないよう、これからもエビデンスをとりながら正確な情報を発信することに努めていきたいと考えています。

ピンクリボン活動の取組ご紹介

プルデンシャル・グループ

150年の歴史を持つ世界最大級の金融サービス機関である米国プルデンシャル・ファイナンシャル・インクを親会社として持つ「プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン」(東京都千代田区)傘下のプルデンシャル生命保険、ジブラルタ生命保険、プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険をはじめとする日本のプルデンシャル・グループ各社は、グループ共通の創業理念である「社会の絆である人間愛と家族愛の不朽の原理の実現」のもと、本業を通じた社会貢献以外にも長年にわたり、被災地支援や経済支援の必要な家庭のサポートなど、多岐にわたる分野での社会貢献活動に取り組んでおられます。そうした中で、グループをあげて実施されているのが「インターナショナル・ボランティア・デー」という取り組みです。これは全世界のプルデンシャル・グループの社員の方々が「気軽に楽しくボランティアに参加しよう」という趣旨で 1995 年から毎年10月頃に実施され、世界各国のグループ会社社員が多様な社会貢献活動に参加されています。

3年前からご寄付頂く

日本における社会貢献活動プログラムの一つとして、「One Rock Walk & Run」というオンライン チャリティー ウォーキング・ランニングイベントが2021年から実施されており、社員の約1か月間の走行・歩行距離に応じた金額が指定の団体に寄付をされるというものです。このイベントに参加した社員が約1か月間に歩いたり走ったりした距離を専用アプリで管理し、社員の健康増進とともに社会貢献に寄与できる

プログラムとなっており、毎年参加者が増え続け2024年には約1800名の社員が参加されました。

開催決定のお知らせを社内イントラ等で周知

社員からの参加費の一部に加え、歩行・走行距離に応じた金額を会社がマッチング寄付され、寄付金が集計されます。その寄付金を指定の団体に分配寄付されますが、J.POSHも当初から頂戴しており、乳がんの啓発活動をはじめ、乳がんに起因する困難や悲しみを抱える多くの方への支援に使わせて頂いております。

アプリでは、参加者自身の順位等も確認できるので、チームで上位を目指したり、個人として1位を目指して頑張る方もおられるそうです。「楽しみながら、社員間の交流にもなり、社員の方々の運動不足解消、健康促進にもなり、そして社会貢献にもなるという、一石二鳥ならぬ、一石三鳥にも四鳥にもなる素晴らしい取り組み」だと思いました。



シニアオフィサー坂口哲也様による寄付目録の授与(プルデンシャルタワーにて)

J.POSH 個人サポーター 登録更新のお願い

個人サポーターは1年ごとの更新制(4月～翌年3月末)です。2025年度もご登録のほどよろしくお願ひ申し上げます。

※登録料年間¥2,000のお支払いをもって更新となります。(年度毎:登録時期に関わらず4月更新となります)

※年間登録料未払いの場合は、今年度からのシステム変更により自動的に登録抹消となります。

※登録料は寄附となり、領収書は寄附金控除等の税制上の優遇措置を受けることができる寄附金受領証明書です。

個人サポーターとは?

J.POSHの活動に賛同してくださる個人の方がサポーターとして登録いただくものです。年1～2回だけでも、できる範囲で、得意なことを活かしながら様々なかたちでJ.POSHの活動をサポートください。

登録すると何があるの?(特典)

- ① ピンクリボンNEWS(年4回発行)が届きます。
- ② J.POSHの各種キャンペーンへの参加資格があります。
- ③ J.POSHのピンクリボンマークを貸出します(※要申請)
- ④ 啓発リーフレット(50部)・ポスター(5部)の無償提供の対象になります。(※要申込、年1回まで)

お支払い方法

銀行口座

三菱UFJ銀行 大阪営業部
普通: 3813981

郵便振替

口座番号
00950-1-296884

クレジット



※寄附金のみ。
グッズ支払いには
対応していません。

口座名: 特定非営利活動法人J.POSH (トクテイエイリカクトウホウジンジエイホツシユ)

登録料(年間) ¥2,000 **更新期限: 2025年6月末日**

※左記期限後に更新を希望される場合は、支払時期をご一報ください。



年間を通じて定期的な支援をご検討いただける場合は
マンスリーサポーター登録もご検討ください。(右のQRコードよりアクセスください)



ピンクリボンNEWSあとがき

ありがたい『寄付文化』の醸成

J.POSHの活動を支えて頂いているオフィシャルサポーター、個人サポーター、オフィシャルパートナーなどのみなさまからは、ご寄付や啓発グッズお買い上げを通じた経済的支援を中心に支えて頂いています。J.POSHに「登録」をされ



ていない企業や団体からのご寄付も少なくありませんが、最近、外資系企業からのご寄付が増えています。欧米などに本社があり、日本でそのブランドの100%子会社や合同会社として営業を展開している企業が、定期的にまとまった資金をお寄せ頂いているケースです。ファッション、化粧品、保険、フード配達会社等々、業種も様々ですが、ご寄付の背景にあるのは欧米社会の『キリスト教の慣習』、『富を分け与える』、

『チャリティ精神』など日常的な慈善活動が脈打っていると思われます。米国のプロスポーツ界でも同じ。アメリカ生まれのアメリカンフットボールチームによるピンクリボン運動協賛は活発で、前号でもご紹介したように日本でも最近、関西学生アメフト連盟のように協賛の輪が広がっています。日本では四国の地元の人々によるお遍路さんへの『お接待』は代表的なふるまいで、いわば『寄付文化の原点』であり、日本人の美德があふれている光景といえるでしょう。税制改正による寄付控除の拡大や「ふるさと納税」などにより日本の寄付文化は「醸成」の方向にあるようで、ご寄付で活動を続けるNPO法人にとって嬉しい流れであることは間違いありません(IT)